

主要産地における令和2年度水稲の生育状況等について 第6報 (6月23日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年6月23日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋) 令和2年度の品種構成等の情報
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月15日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月18日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、分けつは発生も良好である。(空知総合振興局 6月18日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並である。(石狩振興局 6月18日付)</p> <p>(後志) 遅速は1日早い。(後志総合振興局 6月18日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月17日付)</p> <p>(日高) 生育は高温・多照により順調に進んでいる。(日高総合振興局 6月18日付)</p> <p>(渡島) 活着後の好天により、葉数の増えが早まり生育は平年並みとなっている。分けつは良好で葉数は平年を上回っている。(渡島総合振興局 6月18日付)</p> <p>(檜山) 生育は平年並で推移。(檜山振興局 6月18日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月18日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。低温と日照不足の影響で葉数が少ない。(留萌振興局 6月18日付)</p> <p>(オホーツク) 6月上旬の高温により、生育はやや進んでいる。(オホーツク総合振興局 6月18日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は、平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・主要品種に大きな変動はないものの、直播栽培に適した新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。 (農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
		<p>(黒石) 【6月20日現在の生育状況】</p> <p>「つがるロマン」草丈が39.7cmで平年より3.3cm長く、株当たりの葉数は15.8本で1.5本少なく、葉齢は7.9葉で0.3葉多かった。「青天の霹靂」草丈が44.8cmで平年より6.1cm長く、株当たりの葉数は13.6本で2.8本少なく、葉齢は6.9葉で0.2葉少なかった。「まっしぐら」草丈が45.0cmで平年より2.9cm長く、株当たりの葉数は15.5本で3.3本少なく、葉齢は7.1葉で0.3葉少なかった。</p> <p>(十和田) 【6月19日現在の生育状況】</p> <p>「まっしぐら」草丈が43.1cmで前年より0.3cm短く、株当たりの葉数は8.5本で10.5本少なかった。</p> <p>(青森県 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年度も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
青森	(生育)	<p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター(北上)</p> <p>「ひとめぼれ」「あきたこまち」では、草丈は平年より短く、葉数は平年を上回り、葉齢は平年並である。「銀河のしずく」では、草丈は平年よりやや長く、葉数・葉齢は平年並みである。</p> <p>(2) 東北農業研究所(軽米)</p> <p>「いわつてこ」では、草丈と葉齢は平年並みとなり、葉数は平年を下回っている。</p> <p>(岩手県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナリティの高い「銀河のしずく」に転換を図ることとしている。</p>
		<p>【6月19日現在】【県全体の平均】</p> <p>・草丈は 37.4cm (平年比108%)、1㎡当たりの葉数は413本(平年比103%)、葉数は8.6枚(平年差+0.2枚)、葉色はGM値が42.4(平年差+0.3)となっている。</p> <p>・6月10日以降平均気温が平年を上回る日が続き、生育は平年並みに回復した。(宮城県 6月22日付)</p> <p>(大崎) 6月10日調査。5月6半旬より気温と日照時間が平年を上回ったことで生育がやや回復したが、草丈と葉数は平年を下回った。(大崎農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(美里) 6月10日調査。気温が上昇し、生育は順調に進んでいる。(美里農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(栗原) 「ひとめぼれ」(6月19日現在) 生育はほぼ平年並に戻った。葉数は少なめに推移している。近年は生育が早まり、葉数が増え過ぎる傾向が続いてきたことで、現在の生育状況が収量・品質に悪影響を与えることはない。(栗原農業改良普及センター 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「萌えのり」「だて正夢」はやや増加傾向にある。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター(北上)</p> <p>「ひとめぼれ」「あきたこまち」では、草丈は平年より短く、葉数は平年を上回り、葉齢は平年並である。「銀河のしずく」では、草丈は平年よりやや長く、葉数・葉齢は平年並みである。</p> <p>(2) 東北農業研究所(軽米)</p> <p>「いわつてこ」では、草丈と葉齢は平年並みとなり、葉数は平年を下回っている。</p> <p>(岩手県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナリティの高い「銀河のしずく」に転換を図ることとしている。</p>
		<p>【6月19日現在】【県全体の平均】</p> <p>・草丈は 37.4cm (平年比108%)、1㎡当たりの葉数は413本(平年比103%)、葉数は8.6枚(平年差+0.2枚)、葉色はGM値が42.4(平年差+0.3)となっている。</p> <p>・6月10日以降平均気温が平年を上回る日が続き、生育は平年並みに回復した。(宮城県 6月22日付)</p> <p>(大崎) 6月10日調査。5月6半旬より気温と日照時間が平年を上回ったことで生育がやや回復したが、草丈と葉数は平年を下回った。(大崎農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(美里) 6月10日調査。気温が上昇し、生育は順調に進んでいる。(美里農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(栗原) 「ひとめぼれ」(6月19日現在) 生育はほぼ平年並に戻った。葉数は少なめに推移している。近年は生育が早まり、葉数が増え過ぎる傾向が続いてきたことで、現在の生育状況が収量・品質に悪影響を与えることはない。(栗原農業改良普及センター 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「萌えのり」「だて正夢」はやや増加傾向にある。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月19日現在】</p> <p>(由利) 6月10日の水稲定点調査結果(2品種・移植5か所平均)によると、草丈は25.9cmで平年よりやや短く(平年比99%)、mあたり葉数は212本で平年よりやや少なく(平年比96%)、葉数は6.4葉(平年差+0.1葉)。(6月19日付)</p> <p>(秋田) 6月10日の調査では、あきたこまちは生育は、草丈が24.9cm(平年比96%)と平年よりやや低い。葉数は144本/m²(同92%)と平年よりやや少ない。葉齢は6.5葉(平年差+0.1葉)と平年並で分けつは発生が稀だ。(6月12日付)</p> <p>(山本) 6月12日以降、平年より気温の高い日が続いており、生育は概ね順調とみられる。(6月19日付)</p> <p>(平鹿) 6月10日現在の水稲定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈24.1cm(平年比105%)、葉数119本/m²(同107%)、葉数5.6葉(同差±0葉)となっている。(6月12日付)</p> <p>(鹿角) 6月10日の水稲生育定点調査では、草丈27.6cmでやや長く(平年比106%)、mあたり葉数は228本で多く(平年比123%)、葉数は6.4葉でほぼ並(平年差+0.2)。(6月15日付)</p> <p>(北秋田) 田植え作業は平年並に進み、ほぼ終了。直播きでは低温の影響により芽出しが遅くなっている。(6月5日付)</p> <p>(仙北) 5月25日現在の管内の水稲移植作業進捗状況は、進捗率70.0%(平年69.8%)。(6月29日付)</p> <p>(雄勝) 順調に生育している。あきたこまちは平年より分けつが進んでおり、平年比137%となっている。草丈も平年比104%となっている。(6月19日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「めんこいな」「ゆめおぼこ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
		<p>【6月19日現在の生育】</p> <p>・「はえぬき(平坦部)」平年と比べて、草丈は長く、葉数は多く、葉色はやや濃く、葉色はやや濃くなっている。</p> <p>・「つや姫」平年と比較して、草丈は長く、葉数・葉齢は多く、葉色は濃くなっている。有効茎(410～440本/m²)が増え、確保された場所が多くなっている。</p> <p>・「雪若丸」指標値に比べ草丈は並み、葉数は多く、葉色はやや濃く、葉色はやや濃くなっている。</p> <p>(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 6月19日付)</p> <p>(生育) 【水稲直播栽培の生育状況 6月19日現在】(鶴岡田川)</p> <p>・葉数はやや多いが、草丈、葉数、葉色は概ね平年並み。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>【雪若丸の生育状況 6月19日現在】(鶴岡田川)</p> <p>・生育は指標値まで回復。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(最上) 生育は昨年以上に進み、葉数は十分確保されている。(最上総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向にある。</p>
山形	(生育)	<p>【6月19日現在の生育】</p> <p>・「はえぬき(平坦部)」平年と比べて、草丈は長く、葉数は多く、葉色はやや濃く、葉色はやや濃くなっている。</p> <p>・「つや姫」平年と比較して、草丈は長く、葉数・葉齢は多く、葉色は濃くなっている。有効茎(410～440本/m²)が増え、確保された場所が多くなっている。</p> <p>・「雪若丸」指標値に比べ草丈は並み、葉数は多く、葉色はやや濃く、葉色はやや濃くなっている。</p> <p>(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 6月19日付)</p> <p>(生育) 【水稲直播栽培の生育状況 6月19日現在】(鶴岡田川)</p> <p>・葉数はやや多いが、草丈、葉数、葉色は概ね平年並み。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>【雪若丸の生育状況 6月19日現在】(鶴岡田川)</p> <p>・生育は指標値まで回復。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(最上) 生育は昨年以上に進み、葉数は十分確保されている。(最上総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向にある。</p>
		<p>【6月19日現在の生育】</p> <p>・6月9日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈がやや短く、本部(郡山)と浜地域研究所(相馬)の葉数が少なく、会津地域研究所(会津坂下)の葉数が多くなっている。コシヒカリの主稈葉数からみた生育は、本部(郡山)、会津地域研究所(会津坂下)で平年並み、浜地域研究所(相馬)で平年より1日遅くなっている。</p> <p>(福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向となっている。</p>
福島	(生育)	<p>【水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日程度早い、「ふくまる」平年並、「コシヒカリ」平年並。</p> <p>(5月11日移植・対年遅速)</p> <p>「コシヒカリ」平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日付)</p> <p>(生育) 【水稲の生育状況(6月16日現在、龍ヶ崎)】</p> <p>(4月24日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日遅い、「ふくまる」2日早い、「コシヒカリ」2日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」3日早い、「コシヒカリ」4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向にある。</p>
		<p>【6月8日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ</p> <p>・草丈は高く(平年比116%)、葉数は多く(144%)、葉齢は0.3葉多く、葉色は0.3濃い。</p> <p>・葉齢から判断して、生育は平年より2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比133%と大きい。</p> <p>・現地調査場所は葉数が230～649本/m²とバラツキが大きい。</p> <p>(2) とちぎの星</p> <p>・草丈は38.2cmで平年比110%と高く、葉数は64本/m²で平年比127%と多い。葉齢は7.9葉で平年より0.1葉少ない。葉色は3.8で平年より0.8濃い。</p> <p>・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は2.453で平年比106%と大きい。</p> <p>(栃木県 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないなお、オリジナリティの高い「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>
茨城	(生育)	<p>【水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日程度早い、「ふくまる」平年並、「コシヒカリ」平年並。</p> <p>(5月11日移植・対年遅速)</p> <p>「コシヒカリ」平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日付)</p> <p>(生育) 【水稲の生育状況(6月16日現在、龍ヶ崎)】</p> <p>(4月24日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日遅い、「ふくまる」2日早い、「コシヒカリ」2日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」3日早い、「コシヒカリ」4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向にある。</p>
		<p>【6月8日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ</p> <p>・草丈は高く(平年比116%)、葉数は多く(144%)、葉齢は0.3葉多く、葉色は0.3濃い。</p> <p>・葉齢から判断して、生育は平年より2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比133%と大きい。</p> <p>・現地調査場所は葉数が230～649本/m²とバラツキが大きい。</p> <p>(2) とちぎの星</p> <p>・草丈は38.2cmで平年比110%と高く、葉数は64本/m²で平年比127%と多い。葉齢は7.9葉で平年より0.1葉少ない。葉色は3.8で平年より0.8濃い。</p> <p>・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は2.453で平年比106%と大きい。</p> <p>(栃木県 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないなお、オリジナリティの高い「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>
栃木	(生育)	<p>【水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日程度早い、「ふくまる」平年並、「コシヒカリ」平年並。</p> <p>(5月11日移植・対年遅速)</p> <p>「コシヒカリ」平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日付)</p> <p>(生育) 【水稲の生育状況(6月16日現在、龍ヶ崎)】</p> <p>(4月24日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」2日遅い、「ふくまる」2日早い、「コシヒカリ」2日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対年遅速)</p> <p>「あきたこまち」3日早い、「コシヒカリ」4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年「茨のつば」が増加傾向にある。</p>
		<p>【6月8日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ</p> <p>・草丈は高く(平年比116%)、葉数は多く(144%)、葉齢は0.3葉多く、葉色は0.3濃い。</p> <p>・葉齢から判断して、生育は平年より2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比133%と大きい。</p> <p>・現地調査場所は葉数が230～649本/m²とバラツキが大きい。</p> <p>(2) とちぎの星</p> <p>・草丈は38.2cmで平年比110%と高く、葉数は64本/m²で平年比127%と多い。葉齢は7.9葉で平年より0.1葉少ない。葉色は3.8で平年より0.8濃い。</p> <p>・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は2.453で平年比106%と大きい。</p> <p>(栃木県 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないなお、オリジナリティの高い「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>

生育状況等			
千葉	<p>【6月15日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生育は早まっている。「ふさおとめ」の幼穂形成期は平年と比較して2日程度早く、「ふさこがね」は3日程度早く、「コンヒカリ」の幼穂形成期は6月21日頃からとなる見込み。 「コンヒカリ」は草丈が長く、莖数が多いほ場がある。 <p>(千葉県 6月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。
新潟	<p>【6月18日現在の生育状況】</p> <p>「コンヒカリ」指標値に比べ、草丈は「長い」、莖数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、生育は2～3日程度早い状況。「新之助」指標値に比べ、草丈は「やや長い」、莖数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」状況。「こしいぶき、ゆきん子舞、つきあかり」長岡市に設置した調査ほ場では、いずれも莖数や葉色は指標値並以上の生育。(新潟県 6月19日付)</p> <p>(三条) 「コンヒカリ」草丈の伸長が大きく、指標値に比べ「草丈長い、莖数並、葉数並、葉色並」となった。(三条農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(長岡) 本年の出穂期は、昨年並で平年より2日早い予想。(長岡農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(魚沼) 生育の進みは早まっている。(魚沼農業普及指導センターほか 6月15日付)</p> <p>(南魚沼) 田植え後の高温により莖数は指標値に比べて多く、多くのほ場で十分確保されている。(南魚沼農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(上越) 5月下旬からの高温傾向で生育が早まり、「コンヒカリ」「こしいぶき」とも草丈は長め、莖数はやや多め～多めで、葉色は濃い状態。(上越農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(糸魚川) 「コンヒカリ」全体的に、生育は順調。(糸魚川地域振興局農林振興部 6月18日付)</p> <p>(佐渡) 「コンヒカリ」生育は順調だが、今後は「より生育が過剰」となる危険がある。(佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(新発田) 【新発田管内のコンヒカリ生育状況】好天が続く指標に比べ生育は早い。(新発田農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(新潟) 【生育調査結果(6月18日調査)】コンヒカリの生育は指標値に比べ、草丈「並」、莖数「やや多い」、葉数「やや早い」、葉色「やや濃い」(新潟農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(岩船) 【6月18日現在】草丈：並莖数：多葉数の進み：やや早い葉色：やや濃。生育の地域差・ほ場差の拡大進む。(村上農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(巻) 生育は1～2日程度早く、莖数は指標値並。早生の出穂は平年に比べ2日程度早い見込み。(巻農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(柏崎) 「コンヒカリ」「こしいぶき」ともに生育早く、分けつの発生が多い。(柏崎農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(十日町) 生育は平年より早く進んでおり、特に莖数が多くなっている。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。
富山	<p>【直播栽培での生育状況】</p> <p>(灌水土中直播栽培(カルバー))</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて、草丈は長く、莖数は多く、葉色は並み、葉齢は0.4葉進んでいる。 葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、莖数はやや多くなっている。 <p>(灌水表面直播栽培(鉄))</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年に比べて草丈はかなり長く、莖数は多く、葉色は並み、葉齢は0.6葉進んでいる。 葉齢を揃えて比較すると、草丈は長く、莖数、葉色は近年並みとなっている。 <p>(乾田V溝直播栽培)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べて草丈は長く、莖数はやや多く、葉色は並み、葉齢は0.2葉進んでいる。 葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、莖数、葉色は平年並みとなっている。 <p>(富山県 6月18日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているもの、高温条件下でも品質が安定している「てんこもり」「富富」が増加傾向にある。
石川	<p>【本田の生育6月18日調査】</p> <p>「ゆめみづほ」 草丈は葉齢展開に比べ伸長しているが、莖数は葉齢展開に見合った本数となっている。</p> <p>「コンヒカリ」 葉齢展開に見合った草丈及び莖数となっている。</p> <p>「ひやくまん紋」 草丈は葉齢展開に比べ伸長しているが、莖数は葉齢展開に見合った本数となっており、目標有効茎(360本/m²)は確保できている。</p> <p>(石川県農林総合研究センター 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ゆめくまん紋」が増加傾向にある。
福井	<p>【6月18日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ハナエチゼン」で、米道末期に幼穂形成期となる見込み。 <p>(水田農業レベラップ委員会技術普及部会 6月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コンヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちまれ」も増加傾向にある。
長野	<p>(育苗・田植)</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗は、5月上旬から気温が高く推移したことから、一部で高温によるヤケが発生したものの、全般に大きな問題はなかった。 田植は5月10日から開始。最盛期は5月24日頃と推測され、平年より3日、前年より1日早い状況 <p>(北信農業農村支援センター 5月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。
滋賀	<p>【農業技術振興センター水稲作況調査(6月1日時点)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」が平年並、「コンヒカリ」が平年より短かった。 莖数は、両品種ともに平年より少なかった。 移穂後の強風により活着がやや遅れたことに加え、5月第四半旬の最高気温が低く、第四～五半旬が寡照に経過したことから、初期生育は緩慢であった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コンヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多湿性に優れた「みずかがみ」を増加する計画である。
兵庫	<p>(県北) 移穂後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コンヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きめむすめ」の作付推進を図っている。

生育状況等			
岡山	<p>・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 (生育) (岡山県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
高知	<p>【早期米の出穂期予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【南国そだち】6月18日±3日 (4月5日移植) ・【よき恋美人】6月26日±5日 (4月4日移植) ・【コシヒカリ】7月2日±7日 (4月11日移植) <p>(生育) (中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 6月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よき恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。</p> <p>・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。</p>
福岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 早生水稻(夢つくし、コシカ) 田植え後、4月の低温の影響で初期生育はやや遅れていたが、5月から的高温多照により回復。 4月下旬植えの出穂期は平年並の7月中旬の見込み。</p> <p>(2) 普通期水稻(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温多照で経過したため、活着が良く生育は順調。 麦収穫後の田植えも始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月15日付)</p> <p>(田植・生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「実りつくし」の拡充を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>
宮崎	<p>【作物の生育状況 (6月中旬)】</p> <p>(生育) ・早期水稻は穂ばらみ期、普通期水稻は移植前後 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月23日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月20日～7月19日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向にある。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年6月23日14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月18日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月18日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月18日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月18日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月18日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月18日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月18日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月18日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月18日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月18日)、
作況調査報告(6月20日現在の生育状況)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月19日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果№2(6月15日現在)(岩手県農業研究センター 6月16日)、
令和2年度水稲の生育状況について(6月19日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 6月22日)、
令和2年度美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日)、
令和2年度大崎稲作情報第2-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月11日)、
栗原の稲作通信令和2年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月22日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月23日)、
米づくり技術情報第6号(山形おいしさと際立つ! 米づくりプロジェクト本部 6月19日)、
雪若丸技術情報№5(山形おいしさと際立つ! 米づくりプロジェクト本部ほか 6月19日)、
水稲直播情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日)、
雪若丸情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日)、
稲作だより第8号(最上総合支庁農業技術普及課 6月22日)、
主要な農作物の生育情報令和2年度第3号(福島県農林水産部 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月11日)、
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報№2(栃木県 6月10日)、
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県 6月17日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 6月19日)、
令和2年度水稲生育速報№3(新発田農業普及指導センター 6月19日)、
水稲生育速報№3(巻農業普及指導センター 6月18日)、
FAX稲作情報№6(三条農業普及指導センター 6月18日)、
稲作情報№4(長岡農業普及指導センター 6月19日)、
稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業改良指導センター 6月15日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報№3(6月18日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月19日)、
柏崎・刈羽地域稲作だより共通版№5(柏崎農業普及指導センター 6月20日)、
コシヒカリ・こいぶき生育速報(6月18日)(上越農業普及指導センター)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報№3(糸魚川地域振興局 6月18日)、
令和2年度稲作生育速報№3(佐渡農業普及指導センター 6月18日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月10日)、
稲作速報№3(新潟農業普及指導センター 6月18日)、
岩船米生育速報(6月18日現在)(村上農業普及指導センター)、
水稲直播情報第3号(富山県 6月18日)、
令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月18日調査)、
稲作情報№8(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月18日)、
農作物生育概況(北信農業農村支援センター 5月25日)、
令和2年度水稲生育診断情報№1(滋賀県農業技術振興センター 6月11日)、
令和2年度兵庫農業気象技術情報№2(6月情報)(兵庫県 6月4日)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月28日)、
早期米生産農家の皆様へ(中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 こうち農業ネット 6月16日付)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月15日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月18日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月18日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月18日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月18日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月18日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月18日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月18日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月18日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月18日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方気象台)、

令和2年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)